

【クレーム情報】

モヘヤ混ズボンの折り目破損

モヘヤを混用した生地は、特有の張りや光沢、シャリ感などが好まれ、夏物の紳士用スーツ地などに使われているが、摩擦や折り曲げなどに対する強度に欠ける性質を併せ持っている。今回は、モヘヤを混用した製品に発生しやすい破損事故を紹介する。

事故の状態

ズボンの後ヒザ付近の折り目が擦り切れたようになってタテに裂けている。顧客はプレスが強すぎたことに原因があると思っている。

原因

着用やプレスが繰り返されることにより、生地が徐々に磨耗して自然発生的に破損が生じたもの。特に折り目部分は、着用中の摩擦を受けやすいことが原因として挙げられる。

事故の防止対策

着用やプレスなどが繰り返されることによる自然発生的な現象のため、抜本的な防止対策はない。モヘヤを使用しているも「毛」と表示されているだけのこともあるため、硬くて張りやシャリ感のある生地を使ったズボン、シャープな折り目のついたズボンなどは、受付時に折り目部分をチェックして、磨耗などがあれば

その部分が拡大して破損になる可能性があることを顧客に説明し、了解を得ることが必要。また、硬くて張りやシャリ感のある生地を使ったズボンへの強いプレスやシロセツ加工などの折り目加工は避けること。

モヘヤ

モヘヤはアンゴラ山羊^{やぎ}の毛。生後6〜18ヶ月の毛はキッドモヘヤと呼ばれ、最高級品とされている。成長するにしたがって毛が太くて硬くなるため質は低下する。

他の獣毛に比べ張りや光沢があり、シャリ感のある梳毛^{そも}服地や毛足の長いシャギーなどに適している。繊維は外層が硬く、内層が柔らかい構造になっているため摩擦や折り曲げ、引き裂きなどの強度に欠ける欠点がある。

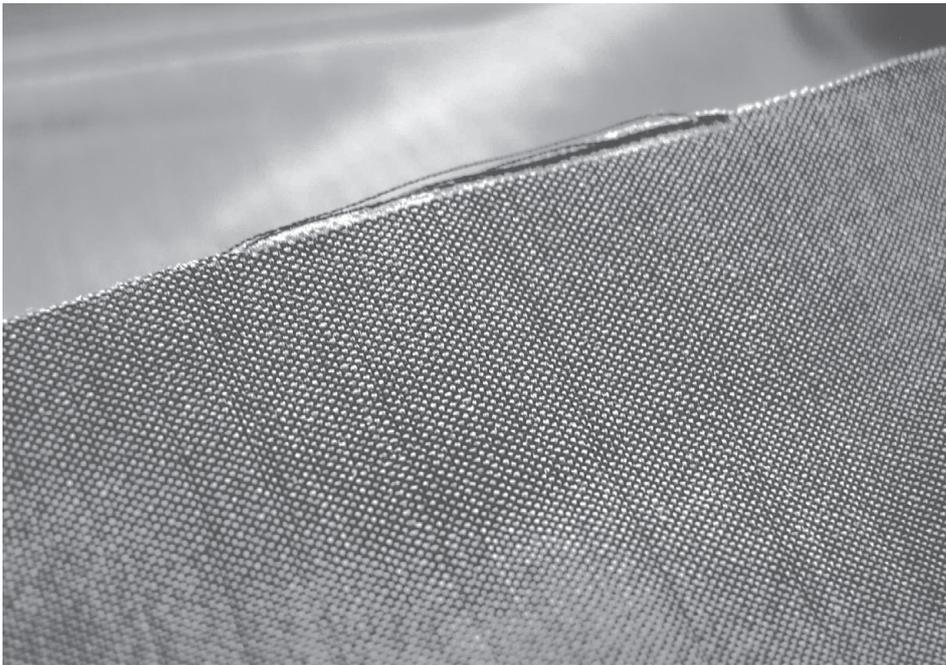
獣毛

羊以外の動物からとれる毛を総称して「獣毛」と呼ぶ。衣料用として

は山羊類、らくだ類を中心に約15種類。獣毛には、羊毛のようにはつきりとしたうろこや捲縮^{けんしゆく}がないため、その製品は、表面が滑らかで光沢がある反面、縮充性が少ないために組織がルーズなものほど毛羽立ち、脱毛しやすいなどの特性がある。



モヘヤ 46%混のズボンで、張り、シャリ感のある素材▼



▲後ヒザ付近が、折り目に沿って
擦り切れたように裂けている

- 品 名…ズボン
- 素 材…毛 54%、モヘヤ 46%

■取扱い絵表示 

■処理方法…テトラクロロエチレンによるドライクリーニング、
ウールプレス機による仕上げ